

学校タイムズ

令和7年5月30日
新潟市立大野小学校
第2号



新潟市、そして大野小学校が目指す子ども

校長 齋藤 裕一

新年度が始まり、新たな気持ちでスタートした子どもたちは、新しい学級や友達、担任など関わる人たちにも慣れ、授業を参観からも頑張っている様子が多く見られます。お子さんの頑張りと同時に、先生方の熱心な指導や支援の積み重ねも大きく影響していると思います。

今年度、大野小学校は391名の児童が在籍し、特別支援学級4学級を含め、全17学級で教育活動を行っております。令和7年度の大野小学校の教育ビジョン（次頁）にありますように、昨年度に引き続き「自立した学習者（自分で考えて学ぶ子ども）」の育成に努めてまいります。昨年度の取組をもとに、より重点化・焦点化していくところを検討しました。詳しくは、次頁をご覧ください。



学校の教育活動の基盤となる「学校教育ビジョン」は、各学校で定めています。では、その根幹となるものは何でしょうかと問われたら、どうでしょうか。実は、新潟市では、「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス」を策定しています。生まれてから一生涯を見通した幅広い視点で、新潟市民の生活が心身ともに豊かになるための教育の基本方針や施策が掲載されており、新潟市の市立の各学校共通の基本構想となっております。また、新潟市の教育が目指す人間像は、「しなやかに 世界と未来を 創る人」としています。言葉にすると少し難しく感じますが、多様性の時代を生き抜く子どもたちの可能性を引き出し、柔軟性・弾力性や粘り強さ、たくましさ、適応力を備えた子どもたちの育成していくことを目指しています。ここを出発点として、各校の教育ビジョンが定められています。

「新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス」

新潟市のホームページに、動画や概要版が載っておりますので、お時間のある方はぜひご覧ください。

<https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/seisaku/keika/ku/kyoikuiinkai/kyoikuvision/compass.html>



大野小学校では、新潟市、そして大野小学校が目指す子どもの育成のために、この1年、教職員及び、保護者の皆様と共に、手を携えながら取り組んでまいります。今後とも、一層のご理解ご協力をお願いいたします。



教育目標の実現に向けた PJ（プロジェクト）部の主な取組

令和7年度の大野小学校教育ビジョンをお知らせします。家庭・地域と連携しながら教育ビジョン実現に向けて努めて参ります。

なお、この教育ビジョンは大野小学校のホームページにも掲載してあります。

深い学びに向かう授業づくりプロジェクト

今年度も昨年度に引き続き「自立した学習者の育成」を目指します。取組の柱は、次の2つです。

① 深い学びを目指した授業づくり

授業の中で、自分の考えを広げたり深めたりできるように、友達と意見を交流する機会を多く設けていきます。また、スプレッドシートに振り返りを記入して蓄積していきます。そうすることで、自分がどれだけ分かっていたのか自覚し、次の学習や家庭学習につなげることができます。

② 自己調整型家庭学習の充実

「スプレッドシートを用いた自立型家庭学習」を行い、「深い学び」に結び付く授業づくりを進めていきます。授業で分からなかったところや授業で興味をもったことを家庭学習で進めるなど、授業と家庭学習が連動したものとなるように進めていきます。

研究主任 伊藤 優美

温かな学級づくりプロジェクト

取組の柱は、次の2つです。

① 学級の支持的風土の醸成を図る

「認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う 温かい学級の風土」をつくっていくために、「学級力」の話合い活動に全クラスが取り組みます。クラスのことを自分ごととして振り返り、どんなことをどのように頑張っていくのかを一人一人が考え、実行していけるようにしていきます。

② 異学年交流とクラスタイムの充実

ふれあい班で異学年と活動したり、クラスタイムで学級の友達とかかわったりすることで、子どもたち同士がいろいろな人とつながったり、相手のことを考えたりできるようにしていきます。どの子にとっても、安心して活動できるような場をつくっていきます。

プロジェクト主任 簗輪 千晶

よいよい習慣形成プロジェクト

取組の柱は、次の2つです。

① 読書に親しむ子どもを増やす

「本を読むことが好きです」と答える子どもが、新潟市の平均と比較して少なかったという結果を受けて、今年度は本を読む時間や読み聞かせの時間を増やしていきます。（本の貸出を1回に2冊から3冊へ変更・年間の目標冊数を設定 低学年100冊 中学年90冊 高学年80冊）また、親子読書も計画しています。家庭でも本に親しむ時間を作れるよう取組を進めます。

② 生活習慣の向上を目指す

メディアとのかかわり方や睡眠時間を確保するなどの生活習慣について、自分で考えてよりよい行動ができるようにしていきたいと思えます。学校と家庭との連携がとても大切です。ご協力よろしくお願い致します。

プロジェクト主任 平田 恵